



学校・地域・PTA の活動

地域のみなさま 旧年中はたいへんお世話になりました どうぞ本年もよろしくお願ひいたします

11月15日土曜日午後に「避難所運営訓練」を実施しました。今回もより実践的な避難所の設置・運営を目指して行いました。主な訓練内容は・避難者受け入れ・救援物資受入配布・防災倉庫確認・仮設トイレ組立の他、今年「アルファ米炊き出し」の訓練や校舎内の見学も行いました。また子どもたちの中には地元の地域の避難方法について関心を持ち、今回の訓練方法を見学する姿が見受けられました。

【 避難所運営訓練 非常食アルファ米の炊き出し訓練も実施：避難所運営委員会 】

↓「炊き込みご飯」の非常食を100食分用意しました。美味しい味です

↓家庭科室でお湯を沸しアルファ米にお湯を注ぐと30分ほどで完成です

アルファ米(具材入)	
さいたま市	
量 目	5kg(50食用)
納入年月	2020年12月
賞味期限	2026年 3月
納入業者	星野総合商事株式会社



11月29日、恒例の育成会主催 東洋大学のダブルダッチサークル

【 ダブルダッチを楽しもう：育成会 】

「跳舞人(とぶんちゅう)」を招いてダブルダッチ体験を行いました。ダブルダッチとは2本の長縄を交互に回転させ、その中を跳ぶ長縄跳びの一種です。3人以上で行います。長縄の回転に合わせ、様々な跳び方に挑戦します。子どもたちにはとっても手軽にでき、集中力、持久力、バランス、リズム感等が自然と身につく運動です。



「針ヶ谷ふれあい子ども教室」の活動か

土曜チャレンジスクールは、11月8日のふれあいまつりに「リサイクルおもちゃ交換会」を実施し、11月15日に「料理教室《サツマイモでまん丸コロントリュフを作りました》」を実施しました。12月6日に《紙パックでハッピーバスケット&ハットを作ろう!》、12月13日に《竹で遊ぶ! いろんな生きものを作ってみよう!》をそれぞれ実施しました。

【 サツマイモでまん丸コロントリュフを作りました 】

【 紙パックでハッピーバスケット&ハットを作ろう! 】

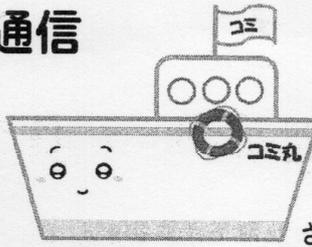
【 竹で遊ぶ! いろんな生きものを作ってみよう! 】

↓サツマイモをベースにしてチョコレートを練りこみ、お菓子のトリュフを作りました

↓1Lの牛乳紙パックを使ってハット(山高帽)やバスケット(かご)を作りました

↓竹の特徴を生かして、様々な生き物をつくってみました。これは大きなえさをくわえた魚です





学校のチカラでイキイキした地域づくり

コミュニティ・スクールでは、学校・家庭・地域が連携して、未来の創り手である子どもたちを支えています。コミュニティ・スクールの取組が、地域を元気にすることにつながった事例を紹介します。

南浦和中学校 中学生ボランティアが地域のWell-beingに貢献

南浦和中学校では、学校運営協議会の話合いに参加した子どもたちから「地域のためにボランティア活動を活発にしたい」という提案がありました。

周知などを繰り返した結果、地域の神社の清掃やフリーマーケット、避難所運営訓練に中学生ボランティアが参加する意識が高まり、地域の方々と協力して活動しています。



小学生を指導する中学生ボランティア

中学生のボランティアは、親しみを込めて「中ボラ」という愛称で呼ばれています。地域住民の高齢化が進む中で、中学生が意欲をもって活躍してくれることは、とてもうれしく、心強いです。



地域住民

西原小学校 コミュニティルームを活用して地域と共にある学校づくり



紙芝居で子どもたちと交流

西原小学校の学校運営協議会では、コミュニティルームの運営に地域の大人が関わることができないかという話合いを行いました。

その結果、この取組が地域住民と子どもたちの距離を近づけるのに有効であることがわかりました。また、自治会員同士の関わりも密接になり、協働活動にかかわる人が増えたそうです。



地域住民

コミュニティルームでは、子どもたちに昔の遊びや地域の歴史を教える活動をしています。子どもたちを通じて学校への理解が深まるだけでなく、地域住民同士の新たなつながりも生まれています。

「コミ丸」の読者アンケートに御協力ください

より良い広報誌を発行することを目的として、アンケートを実施します。右の二次元バーコードからアンケートフォームにお進みください。

アンケートの回答は、1分程度で終了します。皆様の貴重なご意見を聞かせください。



コミ丸第5号アンケート